資料①

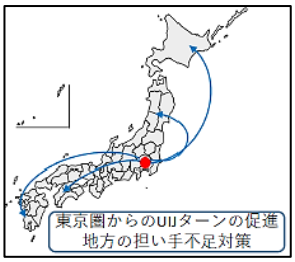
【増額補正予算】地方創生移住支援事業（補正額：＋15,600 千円）

経済政策課

1. 目的

東京圏への過度な一極集中の是正及び地方の担い手不足の解消を目的として、国・県・市町村が連携し、東京圏から地方への移住者に対し移住支援金を支給することで、本市への移住促進を図るもの。

なお、コロナ禍により移住機運の高まりなどを踏まえ、令和 3 年度より、専門人材、テレワーカー等が本事業を活用できるよう内閣府が制度を拡充。



2. 事業概要

●東京 23 区在住・在勤者で、本市に移住して就業又は起業した者等に対して支援金（世帯 1,000 千円、単身 600 千円）を給付。

＜主な要件＞ その他、諸要件あり

＊移住前 直近 10 年間で通算 5 年以上及び直近 1 年以上、「東京 23 区に在住」または「東京圏（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）に在住し、東京 23 区に通勤」していること。

＊移住後 以下のいずれかに該当すること。

- 熊本県が管理運営する転職情報サイト「ワンストップ Job サイト熊本」に移住支援金対象企業として掲載された企業へ就業または内閣府が実施するプロフェッショナル人材事業等を利用して就業したこと。
- 地域課題の解決に資する社会的事業での起業として熊本県が認定したこと。
- 東京圏在住の会社員が本人の意思により本市へ移住し、引き続き業務をテレワークで実施していること。（R3 新規要件）

3. 予算額

		R2年度 決算 A	R3年度 当初予算額 B	R3年度 今年度申請見込み C	R3年度 増額要求額 D（＝C - B）
単身	件数	4 件	5 件	11 件	6 件
	金額（@600千円）	2,400 千円	3,000 千円	6,600 千円	+3,600 千円
世帯	件数	2 件	5 件	17 件	12 件
	金額（@1,000千円）	2,000 千円	5,000 千円	17,000 千円	+12,000 千円
合計	**件数**	**6 件**	**10 件**	**28 件**	**18 件**
	金額	**4,400 千円**	**8,000 千円**	**23,600 千円**	**+15,600 千円**

財源	国・県	3,300 千円	6,000 千円	17,700 千円	+11,700 千円
	市	**1,100 千円**	**2,000 千円**	**5,900 千円**	**+3,900 千円**

※財源：国 1/2（地方創生推進交付金） ＋ 県 1/4 ＋ 市 1/4

【債務負担】くまもと都市圏オンライン合同就職説明会業務委託（20,000 千円）

1. 目的

ハローワーク熊本の有効求人倍率は 1.44 倍（R3 年 9 月）と人手不足の状況が継続しており、求職者と求人企業との出会いの場を最大化し人手不足の解消を図るとともに、不本意ながらも失業した方への就職支援を図る。また、連携中枢都市圏の自治体と連携して実施することで、連携都市圏全体の経済活性化を目指す。

2. 事業概要

- コロナ感染拡大防止の観点に加え、県外求職者も参加できるよう、Zoom などのオンラインシステムを活用。
- 現在は年間 4 回実施しているところ、年間約 20 回(3 日間/1 回)と実施回数を大幅拡充。
- 1 回当たりの参加企業想定 30 社～40 社
- 参加企業のプレゼン力向上に資する事前セミナーを実施。
- 実施回ごとにテーマを設定し、求職者が参加しやすい仕組化。
- 配信内容を後日 Youtube にてアーカイブ配信。

【債務負担】くまもと都市圏インターンシップ業務委託（28,000 千円）

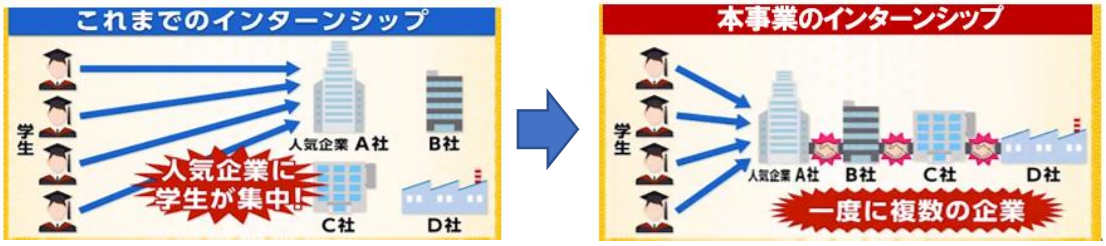
1. 目的

コロナ渦で、特に距離のある首都圏等の県外大学生と地元企業との接点が希薄化しており、経済成長に資する高度人材の不足がますます懸念されることから、インターンシップを通して地元企業と県外学生との“ つながり ”を 創出し、将来の熊本市を担う人材を獲得するための布石を打つことで、生産年齢人口の増加を図る。

2. 事業概要

- 実施手法は、対面型とオンライン型の２つの手法（デュアル型）にて実施。
- より多くの企業とつながるための仕掛けとして、週に５社を周るインターンシップを実施。
- 県外大学生 250 名を対象とした、連携中枢都市圏企業へのインターンシップの実施。
  - ・オンライン型の参加者は首都圏等の遠方の大学生。(150 名想定)
  - ・対面型の参加者は主に福岡圏域の大学生。(100 名想定)
- 対面型参加の福岡圏域学生には、宿泊費・熊本への交通費を支援し、参加しやすい仕組み。
- 実施時期　オンライン：夏休み　／　対面：冬休み
- メインターゲット:大学１～２年生

１週間に５社を巡るインターンシップで地場企業と学生の出会いを、より多く創出する！



資料②

世界マスターズ水泳選手権開催経費について

スポーツ振興課

1　大会概要について

①名　　称　世界マスターズ水泳選手権 2022 九州大会

②主　　催　国際水泳連盟（FINA）

③主　　管　日本水泳連盟、福岡市、第 19 回 FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会組織委員会

④開催期間　令和 4 年（2022 年）5 月 31 日（火）～6 月 9 日（木）10 日間

⑤参加人数　約 100 カ国・地域、1 万人（見込み）※25 歳以上の一般人

⑥開催種目　福岡市：競泳、飛込、オープンウォータースイミング（海や川などで行われる長距離水泳）

熊本市（アクアドームくまもと）：水球

鹿児島市：アーティスティックスイミング（旧競技名：シンクロナイズドスイミング）

2　熊本会場について

・開催経費　大会組織委員会事務局（福岡市）で積算中

・本市の負担額については、現在協議中

3　3 都市開催の経緯

・平成 29 年（2017 年）12 月、福岡市より熊本市・鹿児島市に共同開催の提案。

・令和元年（2019 年）5 月、大会組織委員会（福岡市）より 3 都市開催を発表。

4　R3.11 月補正予算

項目		経費（千円）		内容
		令和3年度（11月補正）	令和4年度（債務負担）	
世界マスターズ水泳選手権開催経費	委託料	2,000	3,000	委託期間：R4.1月以降～R4.6月 委託内容：大会運営業務の一部

①事業目的

世界マスターズ水泳選手権大会 2022 九州大会（熊本会場）の運営において、万全な体制で準備・調整を行い、大会の成功を収める。

②事業内容

熊本会場における、ボランティア、会場警備、マーケットストリート、スタート式典等に係る業務を外部委託にて実施予定。

資料③

熊本競輪場バンクその他整備実施設計等業務委託について

競輪事務所

1. 補正予算の内容（債務負担行為）

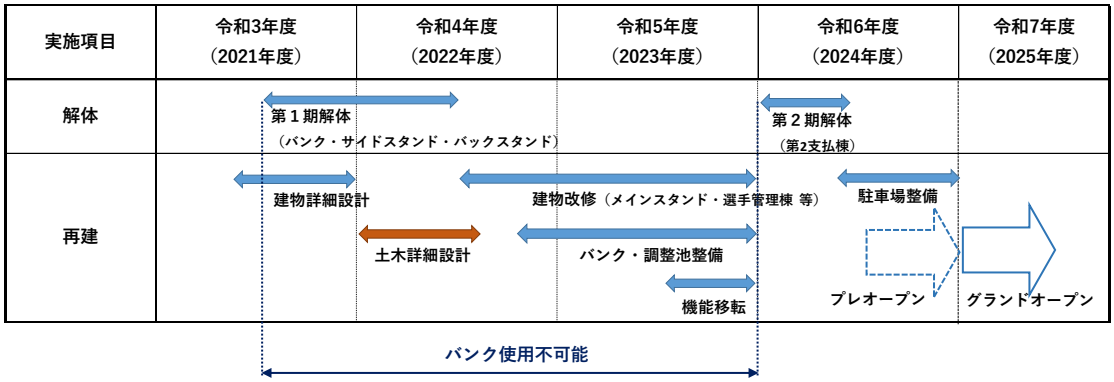
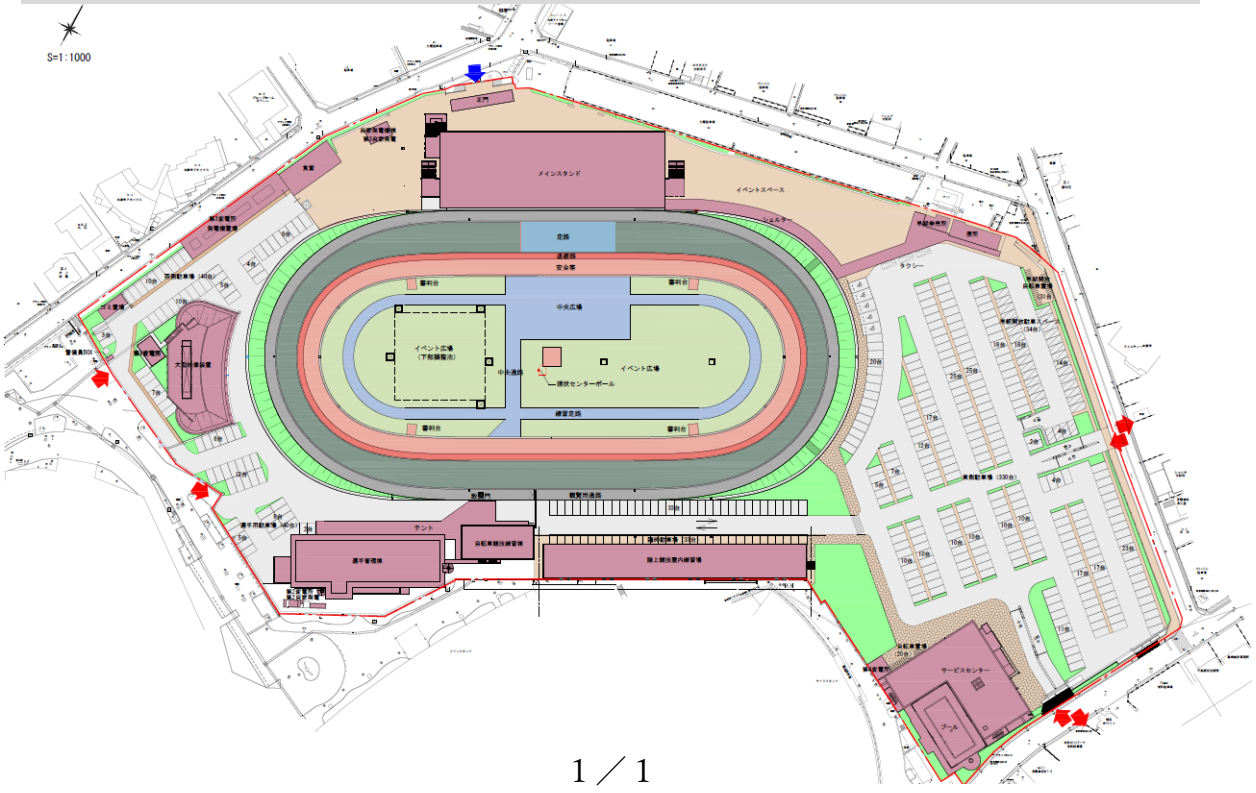
・事業名　　熊本競輪場バンクその他整備実施設計等業務
・期　間　　令和3～4年度
・限度額　　50,000 千円

2. 業務内容及び内訳

バンク、雨水調整池、駐車場等の土木工事にかかる測量及び設計を令和4年度に速やかに実施するための債務負担行為の補正。

① 敷地レイアウト見直しに伴う土木概略設計の見直し業務　　7,000 千円
② 実施設計に必要な敷地測量業務　　5,000 千円
③ 土木工事の実施設計業務　　38,000 千円

3. 全体スケジュール



4. 敷地レイアウト図（参考）